

令和4年度

# 経営発達支援計画 事業評価報告書

実施期間（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

令和5年2月24日

【評価基準】

- A：目標値が達成できており、効果が認められるもの、または期待できるもの
- B：目標値がおおむね達成できており、ある程度の効果が認められるもの、または期待できるもの
- C：目標値を大きく下回っており、取り組み方法の見直しが必要なもの
- D：計画が実行されておらず、評価ができないもの（計画そのものの見直しが必要なもの）



東白川地区商工会広域連携協議会

埴町商工会  
棚倉町商工会  
矢祭町商工会  
鮫川村商工会



## 実施内容と自己評価

### 1. 地域の経済動向調査に関すること

#### ◆ 計画の概要

景気動向調査・景況調査の実施及び国が提供するビッグデータの活用

#### ◆ 実施内容

- ・福島県商工会連合会が実施する中小企業景況調査を15事業者に対して4半期に1回実施  
(15事業者：建設業4者、製造業4者、小売業5者、サービス業2者)
- ・全国及び国の景況調査資料を活用し、経済動向を東白川の調査結果と比較
- ・調査結果は、全国及び県が公表している景況調査資料と一緒に埴町商工会ホームページの「経営発達支援事業」のページで公表（他町村商工会HPにはリンクを作成）
- ・地域経済分析システム（RESAS）の傾向分析を事業計画書策定の際に活用
- ・RESAS東白川地区動向サマリーとして、埴町商工会HP「経営発達支援事業」で公表

#### ◆ 目標

	公表方法	目標	実績
①景況調査公表回数	HP掲載	4回	4回
②ビッグデータの公表回数	HP掲載	1回	1回

#### ◆ 自己評価

景況調査のヒアリングの際は、より細かな経営課題を把握できるように努めた。

景況調査及びビッグデータ共に目標件数を達成することができた。

また、需要動向や顧客ニーズ等の事業計画策定時に活用することができた。

## 評価委員による評価

### 1. 地域の経済動向調査に関すること

	A	B	C	D
評価	4	5	0	0

#### ■評価委員コメント欄

- ・良く出来ている。
- ・掲載されたデータを会員に見てもらおうPRが必要
- ・SNSへのリンクなどによる公表も活用につながるのではないか。
- ・回数等は予定通りだが、ベストかどうか？
- ・事業策定に活用できたのは大変良い。
- ・引き続き調査をお願いします。
- ・目標・実績値の報告だけでなく、景況調査の報告もありよかった。
- ・REASAの地域サマリーに興味を示される委員の方が多くいらっしまったので、今後は計画策定に広く活用していただきたい。

2. 需要動向調査に関すること

◆ 計画の概要

事業者の製品・商品・サービスに関して、イベント・展示会等を活用した需要動向調査を行い、事業者へフィードバックを行う

◆ 実施内容

- ・イベントに出展し、各事業者の新商品についてアンケート調査 ※アンケート集計（別紙）  
令和4年11月19日（土）棚倉城跡 「冬のスカイランタンフェスティバル」

事業所名	商品名	町村名	調査数
ケーフーズ生田目	ぷりり	埴町	52名
光明蕎麦耕房	本格蕎麦焼酎Tunagi	棚倉町	23名
丸越製菓	シャインマスカット大福	矢祭町	52名
ファームつばさ	クラフトバター	鮫川村	34名

◆ 目標

アンケート調査 対象事業者数	R4	埴町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計
	目標	1者	1者	1者	1者	4者
	実績	1者	1者	1者	1者	4者

◆ 自己評価

商談会への出展を見送ったため、地域のイベントに合わせ各事業所の新商品について地域内の需要動向調査を実施した。地域内消費者に各事業所の新商品の魅力等を伝える機会にもなった。アンケート結果を踏まえ、各事業者の新商品開発や見直し、販路拡大・販路開拓に繋がる支援になった。

2. 需要動向調査に関すること

評価	A	B	C	D
	5	3	1	0

■ 評価委員コメント欄

- ・地元イベントで需要動向調査になるのか疑問である。
- ・コロナ禍であって商談会への出展は難しいのは理解できるが、R4は4町村内で都内イベントに参加している実績もある。
- ・今後、行政と連携することも必要なのでは。
- ・地域のイベントで出展できた事は良かった。
- ・フィードバックをうまくやってほしい。
- ・調査結果の改善点をしっかり参考に各事業者の開発に力を入れる。
- ・事業所の数が多いと良い。
- ・内容はとても良い。
- ・各個人の意見なのでどう利用するか。
- ・来年度は他の町村のイベントでも開催してほしい。
- ・アンケートのフリー記述回答は貴重だと思うので、事業所さんと共有して商品開発に活かしてほしい。

3. 経営状況の分析に関すること

◆ 計画の概要

財務分析やローカルベンチマーク、経営計画つくるくん等を活用し、事業者の経営分析を行い経営計画の策定や経営状況を把握する

◆ 実施内容

- ・経営塾（個別相談会）による経営分析 … 3 件（埴1、棚倉1、矢祭1、鮫川0）
  - ・DX（個別相談会）による経営分析 … 8 件（埴2、棚倉6、矢祭0、鮫川0）
  - ・小規模事業者持続化補助金申請時の分析 … 14 件（埴5、棚倉7、矢祭1、鮫川1）
  - ・いきいき支援事業補助金申請時の分析 … 4 件（埴1、棚倉2、矢祭0、鮫川1）
  - ・融資推薦（マル経等）時の経営状況分析 … 17 件（埴6、棚倉6、矢祭2、鮫川3）
  - ・その他（事業再構築、もの補助等） … 12 件（埴1、棚倉7、矢祭2、鮫川2）
- 合 計 58 件

◆ 目標

	R4	埴町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合 計
経営分析事業者数	目標	12 者	12 者	6 者	6 者	36 者
	実績	16 者	29 者	6 者	7 者	58 者

◆ 自己評価

補助金申請時の計画書策定相談や融資相談の際に経営状況（財務）分析を行った。

経営分析事業者数は目標を達成することができた。

専門家と連携した経営状況分析は、事業者への効果的な支援でもあり職員の資質向上にもつながるため、次年度も継続的に進めていく。

3. 経営状況の分析に関すること

	A	B	C	D
評価	5	4	0	0

■ 評価委員コメント欄

- ・目標を上回る実績
- ・経営状況分析は会員にとって最も必要な事です。
- ・会員と共に分析し現状を知り良い悪いを理解する。
- ・もっと多くの会員と実施してほしい。
- ・新規の者がどのぐらいいたか。
- ・どんなイメージでフィードバックしているか分かりづらいので、数だけでは評価できないかなと思います。
- ・今後も力を入れて継続を
- ・町村によって差がある。
- ・事業者にとって分析結果は大変良い。

4. 事業計画策定支援に関すること

◆ 計画の概要

DX推進セミナーを開催し、IT導入及び効果的な活用に取り組む  
経営塾により事業計画策定の機会を創出し、実現性の高い事業計画策定の支援をする

◆ 実施内容

- 各事業所の事業計画（経営革新計画、各種補助金申請時の事業計画）策定支援
- DX推進 講師：グローバルマーケティング(株) 会場：棚倉町商工会館  
セミナー：①8.18（10名）② 8.23（13名）※申込16名 ③11.17（6名）  
個別相談：①8.24～26（8名）② 9.20～22（8名）③10.19～21（8名）
- 経営塾 講師：綿貫有二中小企業診断士事務所 会場：棚倉町商工会館  
セミナー：①9.14（10名）② 9.21（13名）※申込20名  
個別相談：①10.25-26（3名）②11.29-30（3名）③1.31-2.1（3名）④2.20（2名）

◆ 目標

① DX推進セミナー	目標	② 経営セミナー			目標	実績
	1回	1回			1回	1回
事業計画策定 事業者数	R4	埴町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計
	目標	12者	12者	6者	6者	36者
	実績	16者	29者	6者	7者	58者

◆ 自己評価

セミナー（DX・経営）開催については、各1回ずつの開催を行い事業所へ提案できた。  
事業計画策定は、各種補助金申請の計画書策定や専門家と連携し、経営革新計画申請の計画書策定を行い、目標達成できた。次年度も各事業所の事業計画策定支援に取り組む。

4. 事業計画策定支援に関すること

	A	B	C	D
評価	6	3	0	0

■評価委員コメント欄

- セミナーの必要性を会員に理解を求め参加してもらう事が大事。
- 目標より実績が上がっている。
- 個別相談が増えると良い。
- 目標達成数は分からないがOK
- DXの推進を強く行う。
- 結果が大事。どうなのか？
- DXについてHPの活用は取り組みやすい。
- 経営革新計画は期間内で2件の提出があったということで評価できる。
- 事業再構築補助金は、6件申請中4件採択（1件結果待ち）は、全体採択率50%の中、大変評価できるものである。

実施内容と自己評価

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

◆ 計画の概要

策定した事業計画が円滑に実施されるように定期的にフォローアップを行い、計画の修正が必要な場合においては、具体的な改善策を提案し、必要に応じて専門家からの指導・助言を行う

◆ 実施内容

- ・事業計画（経営革新計画や各種補助金申請）後の進捗状況及び実績報告の作成支援
- ・フォローアップ事業（経営革新承認者：4名） 講師：綿貫有二（中小企業診断士）  
セミナー：①9.7（4名）② 2.1（4名）  
個別相談：①9.13-14、21（4名）②10.25-26、11.29-30（4名）③12.21-22（4名）

◆ 目標

	R4	埴 町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合 計
フォローアップ 対象事業者数	目標	12 者	12 者	6 者	6 者	36 者
	実績	9 者	31 者	6 者	6 者	52 者
売上増加事業者数	目標	4 者	4 者	2 者	2 者	12 者
	実績	6 者	12 者	2 者	3 者	23 者
フォローアップ 延べ支援回数	目標	48 回	48 回	24 回	24 回	144 回
	実績	54 回	124 回	38 回	21 回	237 回

◆ 自己評価

各事業者の事業計画の進捗状況確認や事業実施後の実績報告のフォローアップ及び経営革新計画承認者には、専門家と連携し事業計画のPDCA・見直し等のフォローアップを行った。  
実績数も目標に対し、おおむね達成できた。次年度も継続的なフォローアップに取り組む。

評価委員による評価

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

	A	B	C	D
評価	5	4	0	0

■評価委員コメント欄

- ・商工会のもっとも必要な事
- ・職員の向上を期待する。
- ・フォローアップ数が事業目的としては重要なので、十分達成と評価した。
- ・目標として売上増加の事業者数は要因が曖昧になりやすいので適さないのかなと思います。
- ・目標に対して実績が上がり、今後も継続的に。
- ・フォローアップは大事、良好
- ・結果の検証をもっと。
- ・後日に検証する。
- ・フォローアップ回数は目標値で1社当たり4回のところ、実績として約5回と丁寧に対応していただいた。
- ・事業計画策定後もセミナー開催、個別指導などを通じて手厚い支援をされていることが評価できる。
- ・この成果を他の事業へも展開して、地域を盛り上げていただきたい。

## 実施内容と自己評価

### 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

#### ◆ 計画の概要

商談会（展示会・物産展）等への出展支援やIT活用（DX推進）による、新たな販路の開拓の支援をする

#### ◆ 実施内容

- ・商談会は、新型コロナウイルスの影響もあり実施しなかったが、ECサイト「シオクリビト」に4事業所（各町村1事業所）の新規登録を行い、新たな需要開拓の支援に取り組んだ
- ・DXセミナー後に、IT活用等の取組希望事業者（8事業者）を対象に、個別相談会を実施  
個別相談（全3回）Googleマップ活用、YouTube・SNS活用、HP・チラシ活用等
- ・フォローアップ事業（個別相談）でIT活用の取り組み支援

#### ◆ 目標

	R4	埴町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計
商談会参加事業者数	目標	1者	1者	1者	1者	4者
	実績	0者	0者	0者	0者	0者
DX取組事業者数	目標	2者	2者	1者	1者	6者
	実績	4者	6者	3者	2者	15者

#### ◆ 自己評価

商談会参加は、コロナの影響を考慮したため参加出来なかったが、代替え事業としてECサイト「シオクリビト」の登録支援を行い、新たな需要開拓の取り組みができた。

DXについては、専門家と連携しマーケティング戦略を意識したDX（IT活用）への取り組みができた。

## 評価委員による評価

### 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

	A	B	C	D
評価	1	7	1	0

#### ■ 評価委員コメント欄

- ・「シオクリビト」への登録支援の試みは評価できる。
- ・R5から福島第一原発の処理水を海へ放出される予定である。新たな風評被害が予想される中で、販路開拓はとても重要である。
- ・サラナル強化を望みます。
- ・商品の流れが変わった現実を理解し販売方法を会員と共に考えてほしい。
- ・商談会はコロナ禍なので参考にならない。
- ・商談会ができるように、次年度
- ・コロナのため仕方がない
- ・「シオクリビト」良い
- ・DXをより進める。
- ・シオクリビトのPRが足りないのではないかな。
- ・商談会開催にこだわらず、新たな販路開拓の方法についても考えてほしい。
- ・「シオクリビト」は全国でもユニークな取組なので、これからも積極的に活用していただきたい。

実 施 内 容

評 価 委 員 に よ る 評 価

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

◆ 実施内容

・第1回評価委員会

日時 令和4年8月22日（月）午後3時 場所 埴町商工会館

内容 令和4年度経営発達支援事業について 参加者 委員9名

・第2回評価委員会

日時 令和5年2月24日（金）午後3時 場所 埴町商工会館

内容 令和4年度経営発達支援事業の実施報告について 参加者 委員9名

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

◆ 実施内容

・中小企業大学校WEB研修（webマーケティング支援の進め方：IT利活用・生産性向上）全2回

・法定経営指導員実務講習（経営力再構築、事業承継、DX推進支援）

・電子帳簿保存法及びインボイスセミナー ・インボイス制度研修会

・DX支援力アップセミナー ・課題別研修会（資格取得編・DX支援編）

・新任職員等基本能力向上研修会（会計の基礎知識編） ・業種別講習会（DXセミナー）

・小規模企業支援能力向上研修会 ・経営支援能力強化研修会（Ⅰ）、（Ⅱ）

・ランディングページ制作ポイントと活用方法解説セミナー（WEB）

・労務管理、支援能力向上研修会 ・労働保険事務組合研修会

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

■評価委員コメント欄

・アンケート、フォローアップ等の検証が大事で、事業所の理解と、商工会の理解を考え指導する。  
 ・検証は日数のかかるものもあると思う。  
 ・資料は先にいただけるとありがたい。

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

■評価委員コメント欄

・インボイスについては分かりやすく説明する事。  
 ・課題がたくさんあり大変です。

経営発達支援計画 事業評価委員会 名簿

委員長 芦田健一（芦田経営デザイン(株) 中小企業診断士）

委員 古橋博（埴町商工会長） 吉成知温（埴町役場まち振興課長） 立石誠（棚倉町商工会長） 鈴木英作（棚倉町役場産業振興課長）

藤田清（矢祭町商工会長） 古市賢（矢祭町役場事業課長） 前田勝之（鮫川村商工会長） 舟木正博（鮫川村役場農林商工課長）

ワガババー 松本友香（福島県商工会連合会中通り広域指導センター）